

ご挨拶

代表取締役社長

高田 寿一郎



弊社は、2010年9月26日に創業70周年を迎えました。1940年の創業以来、社員一丸となり、お客様の信頼に応える企業を目指し、製鉄や化学、石油化学などの基礎素材産業を始めとするさまざまな産業設備の設計から製作、建設、メンテナンスまでを行う総合プラント建設会社として事業展開してまいりました。これは、ひとえにお客様の温かいご指導とご愛顧の賜物であると心より感謝申し上げます。

昨今の国内企業の経営環境は、製鉄、化学分野のお客様の企業収益が改善する中で、設備の稼働率も向上してきております。しかし、急激な円高の進行により、輸出の採算性および国内需要の動向への影響が懸念され、設備投資の拡大までは見込めておらず、先行きの不透明感を払拭できない状況にあります。

このような中、明るいニュースは、2003年に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」が7年間の航行を終え、小惑星イトカワからサンプルを持ち帰ったことではないでしょうか。JAXA宇宙航空研究開発機構は、幾多のトラブルに遭遇するたびに、意地と忍耐で解決策を考え、対処した結果、サンプルリターンに成功しました。これは人類初の快挙であり、日本人の誇りであります。日本人が「ものづくり」に関して、世界の中でも長けた民族であることの証明と言えます。

弊社におきましても、建設やメンテナンスのそれぞれの分野におきまして、さまざまな考えを持った社員が一つの目標に向かい、こだわりを持って忍耐強く「ものづくり」を行っております。

本号では、創業70周年を記念して、弊社の溶接技術開発の変遷と将来の課題を示した「わが社の溶接のあゆみ」、弊社の技術・技能伝承の歴史と現状を示した「TAKADAにおける人材育成のあゆみと技術・技能伝承」、および「創業70周年を迎えて～TAKADAの歴史を振り返る」を掲載しております。また、(社)日本プラントメンテナンス協会のTPM賞審査事業の一つであるTPM優秀商品賞の2010年度開発賞を受賞した電流情報量診断システム(T-MCMA)を概説した「電流信号多重解析による回転機械系の状態診断」の技術論文を、さらに、現在取り組んでいる「超音波カッティング装置」の新技術の紹介を掲載し、こだわりを持った「ものづくり」の歴史と新商品開発の一部をご紹介します。

弊社は、お客様に信頼され、お客様と弊社の双方にメリットのある提案ができる「屈強なパートナー企業」となり、さらに開発した技術を種として課題の解決のために新たなビジネスモデルを継続的に生み出せる「新ビジネスモデル創出型企業」へ転身すべく、邁進してまいります。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。